

使徒の働き

イエスさまの弟子たち

イエスさまが十字架にかけられて殺されたあと、

失望していた弟子たちは、勇気を出して、みんなの前

にあらわれました。弟子たち一人ひとりの心の中に、

言いあらわされない力が働いて、いっしよに困難に

ぶつかっていききました。

弟子たちには、何か共通するものがありました。

でも、それが何なのかは、弟子たちにもわかりませんでした。

弟子たちは、同じ方向に向かって歩きはじめました。

行く手に、いろんな困難が待ち受けていたけれども、

それぞれ、力をふりしぼってがんばりました。

弟子たちは、どこからそのような力をもらったの

でしょうか。考えたことを、次の空白に書いて下さい。

い。



使徒の働き

こうした弟子たちの行動については、聖書のなかの使徒言行録に詳しく書かれています。

使徒言行録に出てくる主人公は、いつたいだれでしょう。ペトロやパウロやステファノは、あくまでも

道具にすぎません。神の霊こそが主役です。神の霊である聖霊が教会を導いているのです。ですから、

パウロがローマへいったあとどうなったかという点には興味を示さず、イエスさまの教えが、そのころの都であったローマにまで達したことで満足して筆を

止めているのです。

さらに、神の救いの計画ははじめユダヤ人に向けられていましたが、イエスさまをこばんで十字架にかけて殺したために、異邦人にむけられたことが強く主張されています。

